

リー ワシントン・ポスト新支局長とのオンライン懇談会を開催

2022年1月14日

講師：ミシェル・リー ワシントン・ポスト 東京・ソウル支局長

経済広報センターは1月14日、米ワシントン・ポスト（WP）のミシェル・リー東京・ソウル支局長を招き、オンライン懇談会を開催した。会員企業などから約80名が参加した。

昨年8月に支局長に就任したリー氏は、WPがデジタル版の読者拡大とグローバル拠点の強化を図っているなかで、本国からの検索では見つけられない、現地にいるからこそ得られる情報を重視していると述べた。

また、記者は「ストーリーテラー」と位置づけられると指摘。会見内容の受け売りではなく、個人や組織が持つ複雑な背景を正しく理解したうえで、世界中の読者に「ストーリー」を伝えたいと述べた。特に、自身が韓国生まれで、アジア系アメリカ人ジャーナリスト協会の会長も務めていることを踏まえて、日米韓関係や北朝鮮問題を正しく伝えることを重視していると語った。

日本企業の活動に関しては、「米中対立のなかでの動向」や「環境・気候変動に対する取り組み」について関心を持っており、信頼関係を構築、強化しながら、より掘り下げた取材に努めたいと述べた。

質疑応答では、日本の対中スタンスを米国政府は理解しているかとの質問に対して、日本の経済界の事情までは十分に伝わっておらず、互いのアプローチが不足していると応じた。また、日本企業が世界からの関心を引くためには、日本の社会や文化が持つ独自性をアピールすることが強みになると述べた。

以上

一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。